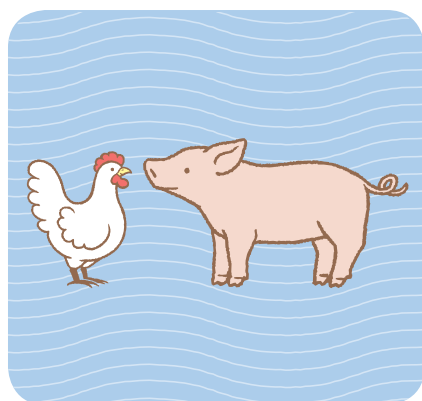
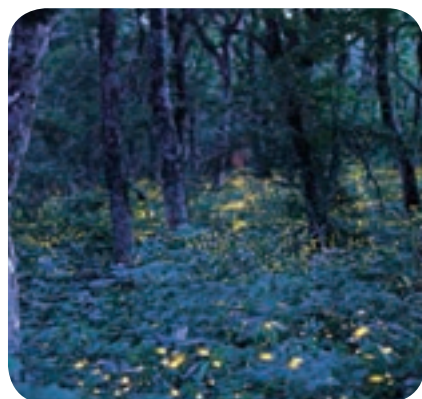
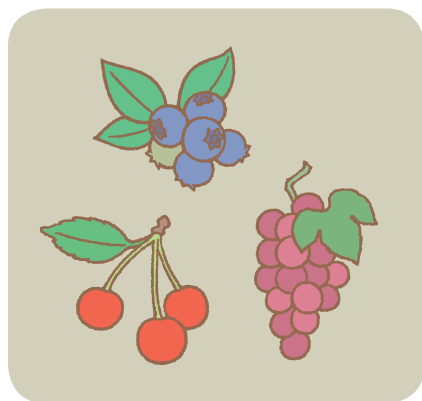


政策を支える土台・原動力

地域力・行政力・共創^{きょう そう}

満足度・幸福度が高い
共に創るまちづくり





現状・課題

人口減少は少子高齢化、地域内需要の減少といった影響に加え、税収の減少など地方財政の悪化や職員数の減少など行政資源の減少にもつながります。

このようななかで、元気な地域づくりを進めるためには、あらゆる分野でリーダーとなる人材育成を進めるとともに、市民（市民・地域・企業・団体等）と行政が、互いの役割と特性を認識し、尊重しあいながら協力・協調し、市民主体のまちづくりを進める必要があります。

政策の方向性

あらゆる分野で未来に向けた人づくりを進めるとともに、町内会やまちづくり団体、NPO、企業、行政など地域全体が連携し、人材育成やまちづくりを支援する中間支援組織の育成を図ります。

また、「ヒト」「モノ」「カネ」といった減少する行政資源の効果的な活用を図るとともに、行政情報の積極的な提供により、事業を計画する段階からの市民参加を推進します。

さらに、まちづくりを支えるための道路や施設など、より市民生活に身近な社会基盤の計画的な整備促進を図り、元気で暮らしやすいと実感できるまちづくりを推進します。

目標指標

数値目標	基準値	目標値	備考
地域活動参加率	－	30.0%（H32）	H32 実施予定のアンケート調査による数値
ワークショップの提言を政策に反映した数	－	10 件（H32）	H28 ～ H32 までの累計

産業を担う人づくり

産業を支える継承者と伝道者を育てる

現状と方向

農業や伝統工芸、地場産業を守り、さらに成長させるためには、それぞれの分野を牽引する人づくりが大切な役割を果たします。

長い経験で培った専門的な知識や技術を次の世代に伝え、人を育て、地域を支える産業が定着することで活力が生まれます。

このことから、高齢者の知識と技を生かす取り組みなど、産業を支える後継者と伝道者の育成を進めます。

主な取り組み

- 地場産業や農業分野での、継承者（担い手）と伝道者（指導者）の育成による人づくりを進めます。
- 企業の活性化と求職者の就職を推進するため、企業ニーズに合った専門的知識や技術を習得する機会を充実させるとともに、企業や求職者の人材育成を図ります。（再掲 P28）
- 新しい農業経営に対応する人材を育成するため、先進的な事例や経営に関する研修などの機会をつくりま



地域を担う人づくり

地域を守り地域をつくる人を育てる

現状と方向

地域のコミュニティ活動を担う世代の高齢化や減少が進み、地域活動の維持が難しい地域が増えている一方で、さまざまな取り組みに挑戦し、若者を中心に子どもから高齢者までが交流しながら、元気なまちづくりを進めている地域も見られます。

このことから、地域を支えるリーダーの育成を図るとともに、学生や来訪者をはじめとした地域内外との交流により地域を守り、創り、支えるリーダーの育成を図ります。

主な取り組み

- これからの地域を支える地域づくりリーダーを育成するため、協働のまちづくり研修会や補助事業活用団体報告会を開催します。(再掲 P50)
- 元気な地域づくりを実践している人との交流を進め、地域人材の育成を図ります。
- 市民がチャレンジするまちづくりイベントへの支援を行い、市民の社会参加を進めます。
- まちづくりワークショップの開催など、市民が意見を出し合いながらまちづくりに参加する機会をつくります。
- 職員出前講座の充実により、市政やまちづくりについて理解や関心を持つ機会をつくります。



未来を担う子どもの育成

ふるさとの未来を担う
子どもたちを育てる

現状と方向

将来のふるさとや社会を支える子どもたちが、学校や地域の中で多くのことを学び、また、交流や体験を通して社会やしごとについて知識を深めるためには、地域全体で子どもを育てる仕組みが必要です。

このことから、学校や地域、家庭が連携し、ふるさとの魅力や人とのふれあいを通して、郷土愛を育みながら、ふるさとを担う子どもたちの育成に取り組みます。

主な取り組み

- 郷土に対する理解や愛着、誇りを育むとともに、人間としての生き方、在り方について考える機会を設け、次代を担う人材の育成を目指します。(再掲 P36)
- 社会の一員として自立する力を養うため、キャリア教育の充実に努めます。
- 農業や農産物の理解を深めるため、子どもへの教育伝承活動を推進します。
- 中高生や若年者に対して、地域の特色を生かしたキャリア教育の充実に図りながら、就職支援を行うとともに、職場定着を図ります。(再掲 P28)
- 学校、家庭、地域、企業、NPOなどが一丸となり、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりに努めます。(再掲 P51)



総合計画の推進

市民と力を合わせて取り組む総合計画

現状と方向

総合計画はまちづくりの方向を示す大切な計画で、多くの方々が携わりながら計画づくりを進めてきました。
次は、市民の皆さんが暮らしやすさを実感できるまちづくりに向けて、この計画を着実に進める必要があります。
このことから、市民や企業など多くの皆さんに、進捗状況や施策の効果を示し、市民目線で検証し改善の方向性を検討するなど、積極的な市民参画による計画推進に取り組みます。

主な取り組み

- 総合計画推進委員会やまちづくりワークショップなど、市民と行政が総合計画について意見を出し合う機会を増やします。
- 総合計画の進捗状況をはじめ、市が取り組む施策などを分かりやすく確認できるよう積極的な情報提供に努めます。
- 広報やホームページ、カシオペアFMを活用した情報発信など、市民が市政に参加しやすい環境をつくります。



市民提案

一緒に集まり、話し合い、取り組む
市民のまちづくり

現状と方向

まちづくりの主役は私たち市民です。
多くの皆さんが集まり、様々なことについて話し合うことで、まちの課題や解決方法、そのための新しいチャレンジも生まれます。
このことから、様々な場所や分野、世代でワークショップなどを開催し、誰でも参加でき、意見を出し合いながら創り上げる市民提案型のまちづくりを進めます。

主な取り組み

- まちづくりワークショップを開催するなど、多くの人たちが話し合いながら、まちの現状を共有し課題解決に向けた方法を考える機会を創出します。
- 地域が抱える課題解決に向けた方法を市民が積極的に提案し、市民、地域、企業、行政が共に創り上げる市民提案型のまちづくりを進めます

民間力の活用

企業・団体・NPOなどの民間力を活かす

現状と方向

私たちは、家庭や職場、団体など様々な場面で活動し、それぞれの場面で、まちづくりや地域活動、経済活動などに携わっています。

このような市民活動に対し、行政がサービスを提供できる部分は限られており、今後も行政が持つ資源の減少が見込まれます。

このことから、企業・団体・NPOなど民間の力を活かし、まちづくりの役割を担うなど、まちづくりと一緒に考え、取り組む仕組みづくりを進めます。

主な取り組み

- 企業・団体・NPOなど民間の力を活かし、民間との協働により総合計画を進めます。
- 民間団体などが主体的に行うまちづくり活動の支援を行います。
- 地域やまちが抱える課題の解決のため、民間の力を効果的に活用するなど、市民協働により暮らしやすいまちづくりを進めます。



道 路

生活に身近な道路をつくる
道路の安全を確保する

現状と方向

山間部に集落が点在する本市において、車は暮らしに欠かせないもので、利便性の高い道路整備が求められています。

また、子どもやお年寄りなどの歩行者が安全に利用できる歩行空間の確保も求められています。

このことから、日常生活の中で利用する身近な道路整備を優先的に進めるとともに、冬期間の安全確保など、年間を通じて安心して利用できる道路環境の確保に努めます。

主な取り組み

- 安心かつ安全な道路交通の確保のため、市民と一緒に道路整備を進めるとともに、計画的な維持修繕を進めます。
- 冬期間の安心した生活環境を確保するため、凍結対策を検討するとともに、市民と協働で道路除排雪作業を適切に行います。



都市計画

未来を見据えた都市づくり
新しいまちを創造する

現状と方向

本市では、これまで整備した施設や基盤を中心に、新たな拠点が出来始めています。

この拠点を生かしながら、土地利用や交通体系が充実したまちづくりを進めるためには、長期的な視点を持ち計画的な整備を進める必要があります。

このことから、まちづくりの指標となる都市計画マスタープランを更新し、将来を見据えた都市づくりを進めます。

また、土地区画整理事業や街路整備事業などの基盤整備に加え、まちの変化や拠点施設の整備に応じた道路・橋梁整備の検討など新しい街並みの整備に取り組みます。

主な取り組み

都市計画

- まちづくりの指標となる都市計画マスタープランを更新します。
- 安全で快適な道路環境の整備のため、荒瀬上田面線（県道二戸一戸線）の岩谷橋工区の早期完成を図るとともに、地域の実情を踏まえた計画的な道路、橋梁等の整備を進めます。
- 新幹線二戸駅周辺地区土地区画整理事業の早期完了を図るため、整備区域の優先順位を決めながら計画的な整備を促進します。



公園

- 子どもから高齢者まで、誰もが集い地域や世代間の交流の場となるよう、適切な公園環境の維持管理に努めます。

住宅政策

- 市営住宅入居者が安心して暮らせるよう住宅団地の適正な管理を行うとともに、市営住宅長寿命化計画を見直します。
- 市営住宅の住宅環境の向上及びエネルギーコストの低減に向けた検討を行います。
- 倒壊する恐れのある空き家の情報を収集し、必要に応じた対策を進めるとともに、空き家の有効活用に向けた取り組みを進めます。

上下水道

安全で安定した水の供給
環境にやさしい水処理

現状と方向

日常生活や産業活動に、水は欠かせないものであるとともに、生活排水などによる河川水質の悪化など、自然や環境にも配慮する必要があります。

このことから、環境に優しい水の循環づくりに向けて、安全で安定した水の供給と、計画的な污水处理を進めます。

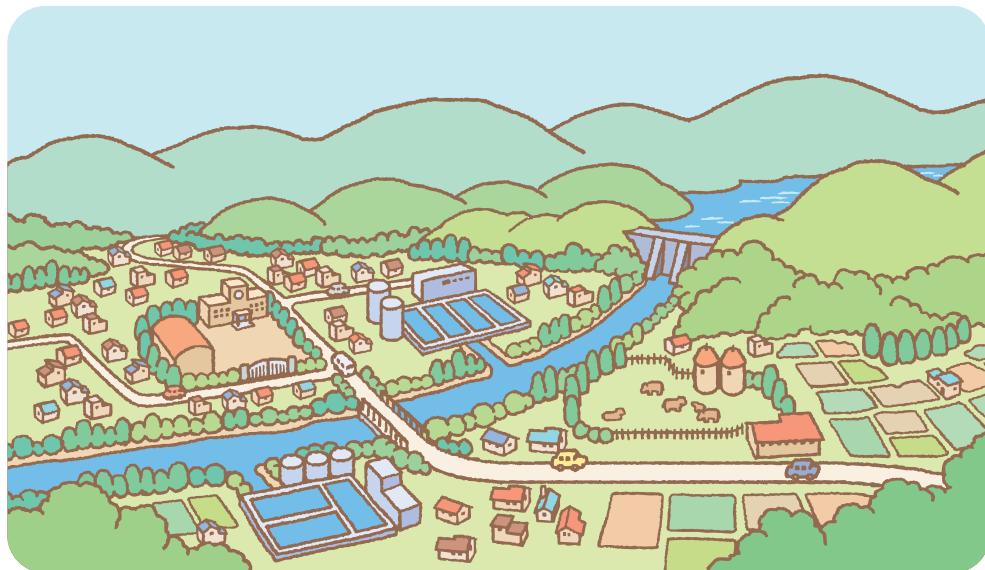
主な取り組み

上水道

- 水道施設の経年劣化による漏水や事故を防止し、安全で安定した水の供給のため、水道施設等の計画的な更新を進めます。
- 簡易水道への加入促進を図るとともに、上水道への統合の準備を進め、経営基盤強化を図ります。

下水道

- 公共下水道整備計画に基づいた整備を促進するとともに、長寿命化計画に基づき修繕費、維持管理費のコスト縮減を図ります。
- 浄化槽設置整備事業の計画的な推進と適切な維持管理に取り組めます。



行財政経営

将来を見据えた効率的で効果的なまちづくり

現状と方向

人口減少・少子高齢化が更に進行し、社会保障関係経費や公共サービスの需要が増加する中、市税の伸びが期待できないことや普通交付税総額の減少により一般財源収入が大幅に減少するなど、行財政を取り巻く環境は厳しさを増すことが見込まれます。

そのため、まちづくりの停滞や市民サービスの低下を防ぎながら、あらゆる歳入の確保と経費の節減、効率的な行財政運営を行う必要があります。

また、市民が将来にわたり安心して暮らせるまちをつくるためには、社会環境の変化に柔軟に対応しながら、総合計画に掲げる目標の実現を目指し、職員一丸となって創意工夫により、様々な施策を実施していくことが必要です。

このことから、将来を見据えた効率的で効果的なまちづくりを目指し、「第三次二戸市行財政改革大綱」に基づき、持続可能な行財政経営に取り組めます。

主な取り組み

簡素で効率的な行政運営の推進

- 個々の職員の資質向上のため、職員の能力向上及び人材育成を推進します。
- 効率的・効果的な組織体制づくりを推進し、社会の状況に対応した組織・機構の見直しに努めます。
- 責任の所在の明確化と意思決定の迅速化を図るため、係長制の導入を検討します。
- 事務事業の見直しを進め、行政の効率化を図ります。
- ICTを活用し、行政手続きなどの簡素化に努めます。

市民ニーズに対応した行政サービスの推進

- 窓口業務など、接遇の向上に努めます。
- 市税等の様々な納付方法の検討・実施により、利便性の向上に努めます。
- 行財政情報を積極的に公表し、市民との共有化に努めます。

持続可能な行財政運営の推進

- 市税等の徴収体制を強化し、自主財源の確保に努めます。
- 税外債権について、滞納繰越額の圧縮に努めます。
- 運営コストや利用者負担を踏まえ、使用料・手数料の見直しの検討を行います。
- 行財政のスリム化と、プライマリーバランスに留意した起債の発行を原則とし、行財政の健全化に努めます。
- 企業会計の法適化を見据えるとともに、財政状況等を分析し財政健全化に努め、繰出金の抑制を図ります。
- 公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視野を持って更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行いながら施設の計画的配置と利活用を進めます。
- PFI等による公民連携での施設整備や指定管理者制度等の拡大により、民間の能力を活用し住民サービスの向上と経費削減を図ります。

